

主催事業

「自然観察とネイチャークラフト」

1.ねらい

自然観察とクラフトを通して、「人と人」、「人と自然」を結び、自然愛護の気持ちを育てます。

2.実施日

令和6年8月11日(日)

3.対象者

家族・グループ・一般

4.募集定員／応募人数／参加人数

30人／ 13人 /13人

5.「自然観察とネイチャークラフト」のスケジュール

8月11日(日)

10:00 開会式

10:15 自然観察

12:00 昼食

13:00 ネイチャークラフト

14:30 閉会式

自然観察

開会式後、森林インストラクターである講師の紹介をし、2グループに分かれてセンター内の自然観察を行いました。参加者に自主的に自然を見てほしいとの願いから、ビンゴ表を用意しました。ビンゴの項目は、「匂いがする植物」や、「ギザギザした葉っぱ」、「生き物の抜け殻」などでした。参加者は、講師の説明に興味深く聞き、自分で気になったことを積極的に質問していました。また、自然観察後、子どもたちは「自分が見つけたみんなに紹介したいもの」を発表しました。ビンゴの景品になった植物で作ったバッタを、嬉しそうにもらっていた姿が印象的でした。参加者にとって、自然により関心をもつ機会になったと感じます。



ネイチャークラフト

午後からは、ネイチャークラフトを行いました。センターにある森のめぐみ(自然素材)を使い、置物をクラフトしました。参加者は、どのような作品を作るのか想像力を膨らませ、イメージに合う木の実や木の枝を熱心に選んでいました。一人一人が集中し、黙々と丁寧に作品を作り上げる姿がとても印象的でした。特に子どもたちは目を輝かせ、自然と笑顔になっていました。

また家族と話し合い相談しながら作品を完成させるなど、家族の絆を深め、親子で楽しめる時間になりました。



6.まとめ

この事業では、募集人数を下回る応募になり、少人数での開催になりました。気温が高く、屋外の活動を敬遠することが要因の一つであったと考えられます。当日は、水分や塩分タブレットを配布したことで、体調を崩す参加者はいませんでした。今後も猛暑の中での開催は、気をつけて行っていくことが必要だと感じました。同時に、センター内には様々な自然があり、自然観察は当センターの魅力をも十分に生かす事業でもあります。より多くの参加者を募り、自然に親しむ機会を提供していきたいと考えています。

